

科目 No.	40
授業科目名 (英語表記)	グローバル社会と科学技術の倫理 Science, Technology and Global Society
授業の実施場所	宇都宮共和大学 宇都宮シティキャンパス
使用言語	英語・日本語
単位数	1
開講日時	2月21日(木)～22日(金) (4コマ×2日) 8:50～16:10 (各日とも)
授業形態	講義
受講者数	最少10人～制限なし
担当教員	宇都宮共和大学シティライフ学部専任講師 吉良貴之
開設大学	宇都宮共和大学
授業の内容	<p>科学技術の発展は私たちの生活を便利にしてくれますが、ひとたび暴走するとグローバルな規模での危険をもたらすものでもあります。この授業では地球環境問題などに関わる具体的なトピックを素材にしながら、科学技術の社会的コントロールのあり方を考えます。最終的に自分なりの見解を英語でまとめ、海外に発信できるようになることを目標とします。</p> <p>授業では、参加者のレベルに応じて英語・日本語の両方を用います。</p> <p>[扱うトピックの例 (受講者の要望に応じます)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ エネルギー政策： 地球温暖化、リスク管理、将来世代への責任、といった観点から、各エネルギーのメリット・デメリットを捉え直しましょう。</li> <li>➤ グローバルな食糧問題： 遺伝子組み換え作物は人々を飢餓から救うものでしょうか。安全と安心の違いを具体例を通して考えてみましょう。</li> <li>➤ グローバル情報化社会： インターネットの発達にともなって、私たちの「情報」や「プライバシー」の概念はどう変わってきたでしょうか。</li> <li>➤ 科学者の責任と研究倫理： グローバルな影響をもたらさうる科学技術について、専門家である研究者にはどのような倫理が求められるのでしょうか。</li> </ul>
教科書・参考書・教材等	必要な資料などは、適宜配布します。また、理系分野の前提知識は特に求めません。
成績評価	授業中の課題やレポートによって評価します。
学修上の助言	「グローバル社会のなかの科学技術」という視点を育んでいきましょう。